

科目	学年・小学科	単位数
書道 I	3年選択	2
教科書	書道 I (教育図書)	
副教材	なし	

## 1. 学習目標

書道の幅広い活動を通して生涯にわたり書を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、書写能力の向上を図り、表現と鑑賞の基礎的な能力を伸ばし、書の伝統と文化についての理解を深める。

## 2. 学習方法

講義、実技、研究

## 3. 評価の観点と趣旨

①	書への関心・意欲・態度	書の創造的活動の喜びを味わい、書の伝統と文化に関心を持って、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとする。
②	書表現の構想と工夫	書表現の諸要素を感受し、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。
③	創造的な書表現の技能	創造的な書表現をするために、書の効果的な表現の技能を身につけ表している。
④	鑑賞の能力	文字や書の伝統と文化について幅広く理解し、その価値を考え、書のよさや美しさを創造的に味わっている。
⑤		

科目名	学年・小学科	単位数
書道	3年・選択	2

学期	単元	学習内容	重点をおく評価の観点					単元の評価規準	評価方法
			①	②	③	④	⑤		
前期中間	書へのいざない	中学校までに学習した基本的な事項を確認させる。	○	○	○	○	中学校までに学習した姿勢・執筆や基本点画等を確認し、身につけている。 漢字の書体の特徴に関心を持ち、意欲的・主体的に理解しようとしている。 漢字の書体の変遷を理解している。 書風の変化に関心を持ち、意欲的・主体的に味わおうとしている。 用筆や字形の違いから書風が変化することを理解している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業態度</li> <li>作品評価</li> <li>課題提出</li> <li>課題演習</li> <li>ノート提出</li> </ul>	
		書への視野を広げ、自ら表現を見出すことの大切さを理解させる。	○			○			
	漢字の書の学習	漢字の書体の変遷について理解させ成立の過程やさまざまな用筆による味わいについて理解させる。臨書を通し各書体の用筆・運筆・字形の取り方を学ぶ。	○	○	○	○			
前期末	漢字の書の学習	それぞれの書体の成立過程やさまざまな用筆による味わいについて理解させる。臨書を通し、各書体の用筆・運筆・字形の取り方を学ぶ。	○	○	○	○	漢字の書体の特徴に関心を持ち、意欲的・主体的に理解しようとしている。 用筆や字形の違いから書風が変化することを理解している。		
		近・現代の作品から筆者の表現意図を感じ取らせる。作品に古典の要素が生かされていることを理解させる。	○		○	○			近・現代の書作品から個性や美しさを感じ取り、筆者の意図を理解している。 書作品に古典の要素が生かされていることを理解している。
後期中間	仮名の書の学習	仮名の特徴とその成立過程を理解させる。 基本的な執筆法・用具・用材を理解させる。	○			○	仮名の特徴に関心を持ち、成立等について理解している。 用具、用材や用筆による表現の変化を感じ取り、表現を工夫している。		
後期末	漢字かな交じりの書の学習	漢字仮名交じりの書のさまざまな表現と美を理解させる。 書を日常生活に生かす充実感や喜びを味わわせる。	○	○	○	○	漢字と仮名の字形や線質に関心を持ち、意欲的・主体的に取り組もうとしている。 実用的な表現について基礎的な事項を理解し、楽しんで表現活動を行っている。		